



Collaborative Actions for Renovation of Air Traffic Systems

資料4



# 平成29年度におけるCARATSの主要な活動 ～横断的な取組～



CARATS事務局  
平成29年3月

# 平成29年度におけるCARATSの主要な活動 ～横断的な取組～

## → 機上側装備の対応促進に関する検討

- ・CARATSの施策の多くが、地上側の整備だけではなく、機上側の装備もあわせて対応しなければ実現することが困難。
- ・いずれの施策についても、機上側の装備の対応に関する現状や課題を整理し、運航者やメーカー等と共に検討を進めていく。

## → CARATS目標指標に関する検討

- ・これまで収集されたデータから利便性に係る指標が悪化していることが明らかになった。平成28年度は、気象現象が他の理由に比べて参考となる基準値があるため、定量的な分析が可能であることから、気象に着目して航空機との遅延の相関関係について検証した。
- ・今後は「気象条件と遅延の関係性」について定量的に分析を行うとともに、「到着便に対する自空港の気象の影響による欠航便の割合」、「主要路線におけるGate to Gateの運航時間」について今年度に引き続き分析を行う。

## → 航空交通分野研究者の裾野拡大に向けた取組の実施

- ・ CARATSの取組について、これまで学会やシンポジウム等の場での発表を通じて普及に努めてきたところ。
- ・ 今後も、昨年度作成したパンフレットや今回の施策集を活用するなど、CARATS施策の普及をより積極的に行い、裾野拡大に努めていく。